

2025年12月2日

各位

株式会社クレハ

## バイオ関連農業資産の初期評価完了について

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：小林豊、以下「当社」）は、グループ会社である Kureha America Inc.（本社：米国テキサス州、社長：大橋 隆志）を通じて、米国スタートアップ企業が保有していた微生物農薬および微生物相互作用解析プラットフォームに係る技術資産を取得し、当社における初期の技術評価が完了しましたので、お知らせいたします。

近年、農業分野では、化学農薬による防除が難しい病害虫に対するソリューションや、環境負荷低減に向けた持続可能なソリューションへのニーズが高まっています。こうした背景の中、当社は微生物を有効成分とする農薬技術に着目し、微生物に係る技術資産を取得し、評価を実施してきました。

今回取得した微生物農薬について、バナナ新パナマ病をはじめとするフザリウム病害、細菌病やセンチュウ類を含めた幅広い病害虫に対する防除効果があることを、社内評価を通じて確認しました。現在、グローバル展開を見据えたマーケティング活動を開始しており、本微生物農薬はバイオ由来の低環境負荷に加え、化学農薬でも防除が難しい病害虫に対しても有効であるため効能面においても差別化が可能であると考えています。

さらに、当社は本微生物農薬の発見に至った微生物相互作用解析プラットフォームについても、新規微生物の探索に活用するための体制整備を進めています。本プラットフォームを当社の基盤技術と組み合わせることで研究開発力を強化し、高付加価値な新製品創出を目指します。

当社の新規事業創出に向けた取り組みにおいて、ライフサイエンスを注力分野の1つとして位置付けています。その中でも農業資材は、食料安全保障や環境負荷低減といった社会課題の解決に直結するとともに、当社のポートフォリオの均衡化に向けた戦略的役割を担います。化学農薬で培った技術に加え、今回取得した微生物農薬と、現在開発中のバイオスティミュラント等のバイオ農業資材を組み合わせることで、持続可能な農業ソリューションをグローバルに展開し、2030年以降の収益貢献を目指します。こうした取り組みを通じて、当社はライフサイエンス関連事業の強化を実現し、グローバル市場での競争力を高めてまいります。

以上

〔本件に関するお問い合わせ先〕

株式会社クレハ コーポレート・コミュニケーション部

TEL：03-3249-4651